子育て支援だより

「子育てワンポイントアドバイス」

第184回　「子どもの声かけテクニック」

作業療法士 **塩津　裕康**

作業療法士の塩津です。子どもが育つ上で、土台となるのが親子の絆かと思います。「安全基地」という考えがありますが、安全基地があることで、子どもたちはさまざまなことにチャレンジしていけるわけです。では、安全基地とは？それは、やはり親子の絆だと思います。

子育てで親子の絆を深める際の声かけのテクニックを紹介しておきたいと思います。

◯できるだけ使用を避けたい声かけ

子どもとの『絆作りの時間』における関わりのなかで、避けたい声かけが３つあります。①指示、②質問、③禁止・否定的な言葉、です。これは前提に、絆を深めるために、大人が子どものリードに従うことがあります。『指示』は、大人が子どもをリードしています。『質問』は、「ごはん食べないの？」など、一見子どもに選択肢を与えているように思われますが、見方を変えると「ご飯を食べなさい」という指示になっています。『禁止・否定的な言葉』は、言うまでもないです。

◯できるだけ使用したい声かけ

使用したい声かけも３つあります。①くり返し、②行動を言葉にする、③具体的に褒める、です。『くり返し』は、子どもの発言をくり返し大人が言うということです。子どもは自分の言葉をくり返してもらえると、自分に注目してもらえていると感じます。『行動を言葉にする』は、実況中継のように子どもの行動を大人が言語化してあげることです。『具体的に褒める』は、「すごーい」などと抽象的に褒めるのではなく、「とても早く走れたね」など具体的にほめる声かけです。抽象的な褒め言葉は、何を褒められているのか子どもにとっては分かりづらいものです。

◯まとめ

今回紹介した、『避けたい声かけ』と『使用したい声かけ』は、四六時中そのような関わりをしなさいということではないです。１日５分で良いので、このような声かけをする機会を作ってみてください。何か子どもに教える・指示する場合にも、前提にこのような関わりの有無でその効果は大きく違ってきます。

無理のない範囲で試してみてください。

※塩津作業療法士は、あさひ園で個別の作業療法療育・相談を行っています。

巡回児童相談のご案内

療育手帳の取得や更新をご希望の18歳以下の方は、右記の日程で、北勢児童相談所による巡回児童相談を行います。事前予約が必要ですので、子育て健康課（377－5652）までお申し込みください。

知的障がいのある方が療育手帳を取得すると、一貫した療育・援護が受けられます。

様々な制度やサービスの割引・給付が受けられたり、教育や就労に関して配慮や支援を受けやすくなります。

記

日程：７月２日（金）、９月24日（金）
令和４年１月24日（月）
１日につき４名まで予約できます。

場所：保健福祉センター　保健室

4月の子育て支援事業

日　程	時　間	事業名	内　容	対　象	場　所	予約	担　当
4/13(火)･16(金)･20(火)･23(金)･27(火)･30(金)･5/7(金)	9:00-12:00	あそび場	スキンシップ・ストレッチなどの遊び	発達がゆっくりの子どもと保護者	ほっとくらぶ	不要	ほっとくらぶ（377-3522）
4/21(水)･5/6(木)	10:00-12:00	ほっとする親の会	茶話会				

＊最終ページに子育て健康課の子育て事業を掲載していますので、ご覧ください。
＊お問い合わせは、各担当者にご連絡ください。